

【外国語・小5・Lesson2 When is your birthday?】①

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 相手の誕生日や好きな季節などについて、聞いたり言ったりすることができる。アルファベットの活字体の小文字を識別し、読んだり書いたりすることができる。
- (思考力、判断力、表現力等) 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きな季節などについて伝え合うことができる。
- (学びに向かう力、人間性等) 相手に誕生日や好きな季節などを分かりやすく伝えようとしていたり相手の話をよく聞こうとしていたりする。

ICT活用のポイント

「話すこと[やり取り]」において、正しい発音を習得するための、音声を可視化したメタ認知的活動

【つかむ】

既習事項を復習し、
本時のめあてを確認する。

めあて

誕生日を伝え合っ、クラス
の誕生日カレンダーを作ろう。

活用場面①

【追究する】

活用場面②

伝える内容について発音練習を
してから、活動に取り組む。

【まとめる】

自己評価と振り返りを行う。

事例の概要

【概要】

1. 前時の復習と本時のめあてを確認する。
2. 自分の誕生日の言い方を個別に練習する。
【活用場面①】【活用場面②】
3. 友達と誕生日を伝え合う。
4. クラスの誕生日カレンダーを作る（写真1）。
5. 本時の学習を振り返る。

【事例におけるICT活用の場面①】

○活動に必要な表現について、配付されたALTのモデル音声ファイルを聞きながら、発音の仕方について確認する。

【事例におけるICT活用の場面②】

○ICT端末の音声入力機能を用いて、正しい発音ができているかを確認する。



写真1

【外国語・小5・Lesson2 When is your birthday?】②

【事例におけるICT活用の場面①】



写真2

活用場面①

ICT端末を通して教師から配付された音声ファイルを、児童が各自で繰り返し聞くことができた。（写真2）



<効果>

これまでの一斉での発音練習とは異なり、個々のペースで何度もモデル音声を聞いたり、自分で発音した後に、もう一度モデルを聞き返すことができたりする。

<留意点>

誕生日が児童によって異なるため、事前にALTが児童数分のモデル音声を作成しておく必要がある。

【事例におけるICT活用の場面②】



写真3

活用場面②

児童は、「話すこと[やり取り]」の際に必要な表現の発音練習を、ICT端末の音声入力機能を使って行った。自分の発音を文字として捉えながら、何度も繰り返し練習することができた。（写真3）



<効果>

児童が、自分の発した音を文字として見ることにより、メタ認知的活動を通して正確な発音を身に付けることができる。また、文字化された児童の発音は、教師が行う「話すこと[やり取り]」の客観的な評価材料として使用することもできる。

<留意点>

正しく発音できているかを確認られるようにするために、正解の文を事前に提示し比較できるようにしておく。